

いわて自然公園特派員だより(岩手県自然保護課)

場所：栗駒国定公園／栗駒山

令和4年7月31日(日) 情報提供(文、写真) 小原 昭彦

 <p style="text-align: center;">御沢</p>	 <p style="text-align: center;">ハシゴ滝</p>
<p>栗駒山の古くからの山岳信仰で御駒講と呼ばれる古式に則って、表掛け(御沢)から上り裏掛けを下りました。</p> <p>表掛けは普通の登山道では無く、御沢の岩の上を渡りながらよじ登るようなコースで、「石飛八里」とも呼ばれています。</p>	<p>「ハシゴ滝」を躲しながら登り、お助けロープの有る急斜面を登ると、御室の広大な空間が見えてきて、暑さと疲れが一気に吹き飛ぶ感じです。大雪渓は高低差が有るので、滑落しないよう十分な注意と装備が必要です。</p>
 <p style="text-align: center;">御室下</p>	 <p style="text-align: center;">産女川源流</p>
<p>駒形根神社の奥宮でもある御室に参拝し、安全祈願とコロナ終息を祈りました。</p>	<p>涼しい風の吹く山頂を経て裏掛けコースに進むと、こちらの沢筋にも雪渓が残っています。</p>
 <p style="text-align: center;">一関市街地からも見える雪渓</p>	 <p style="text-align: center;">ドゾウ沢</p>
	<p>H20岩手宮城内陸地震の土石流発生地点である「ドゾウ沢」崩落源頭は、現在でも落石が有るので注意しながら速やかに通過しましょう。最後は、温泉の匂いがする「新湯沢」を越えれば、まもなく登山口に戻ることができます。</p>